

# 図書だより

令和7年6月  
第3号  
中等図書館

5月はゴールデンウィーク後すぐに、体育祭の準備や練習があり、図書館に来る時間がないと感じた生徒もいたのではないのでしょうか。忙しい日々の中에서도、定期的に図書館を利用しているみなさん、これからもどんどん足を運んでください。

※6/2（月）～6/5（木）は、渡り廊下工事のため休館します。

## ◆第71回青少年読書感想文全国コンクール課題図書◆

今年の課題図書を紹介します。夏休みの課題や読書の参考に、ぜひ手に取ってみてください。（順次配架予定です。）

### 【中学校の部】

・わたしは食べるのが下手 / 天川栄人 著

会食恐怖症と摂食障害、ふたりの少女がたどり着いた正しい”食”との向き合い方とは。わたしたちが望む給食って、どんなだろう？

・スラムに水は流れない / ヴァルシャ・バジャージ 著

インドのスラムは水の供給が極端に悪かった。少女ミンニは水関連の事件や母が倒れるなどの試練の中、健気に生きぬいていく。

・鳥居きみ子 家族とフィールドワークを進めた人類学者

/ 竹内紘子 著

「知の巨人」ともいわれた夫の鳥居龍蔵や家族とともに、人類学の研究に取り組み、調査を進めた鳥居きみ子の生き様を描く。

### 【高等学校の部】

・銀河の図書室 / 名取佐和子 著

宮沢賢治の言葉を残して、突然学校から消えてしまった先輩。その謎を追う高校生たちの今を瑞々しく描く、傑作青春小説。

・夜の日記 / ヴィーラ・ヒラナンダニ 著

イギリスからの独立とともに、分かれてしまった祖国。少女と家族は安全を求めて、長い旅に出た。ニューベリー賞オナー賞受賞作。

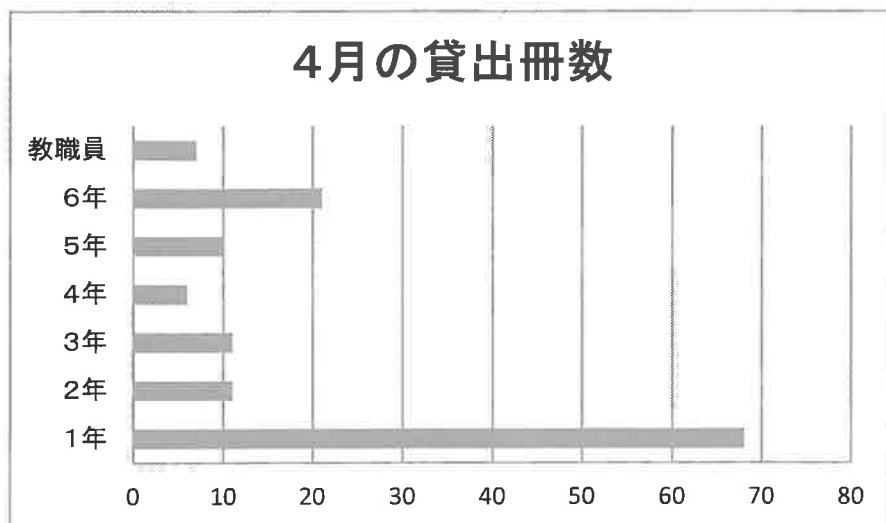
・「コード」のぼくが見る世界 聞こえない親のもとに生まれて

/ 五十嵐大 著

もし、親の耳が聴こえたら——なんて、想像もつかなかった。言葉やコミュニケーションの本質、「善意による差別」ってなんだろう？

※コンクール応募の詳細は、前期・後期それぞれの国語科の先生に確認をお願いします。

## ☆図書利用統計(4月)



**合計134冊**

4月の利用者数は305人でした。1年生の図書館オリエンテーションが行われ、多くの貸出がありました。引き続き、積極的に図書館を利用してもらえると嬉しいです。後期生では、6年生の貸出がもっとも多くなりました。



本屋大賞ノミネート作品より

### 「アルプス席の母」 / 早見和真 著

秋山菜々子は、神奈川で看護師をしながら一人息子の航太郎を育てていた。湘南のシニアリーグで活躍する航太郎には関東一円からスカウトが来ていたが、選び取ったのはとある大阪の新興校だった。声のかからなかった甲子園常連校を倒すことを夢見て、息子とともに、菜々子もまた大阪に拠点を移すことを決意する。不慣れな土地での暮らし、厳しい父母会の掟、激瘦せしていく息子。果たしてふたりの夢は叶うのか！？

この小説の主人公は息子ではなく母親。母親目線で甲子園出場を目指す息子の姿が描かれているところが、ほかの高校野球小説と一味違う。シングルマザーが息子のために奮闘する姿は、誰が読んでも感動すること間違いなし。みなさんもぜひ、「子ども」の立場から「菜々子お母さん」を応援しながら読んでみては……。

2020年に「店長がバカすぎて」が本屋大賞にノミネートした早見和真さんによるまったく新しい高校野球小説が開幕！



### 今月のひとこと

今月は中間考査があり、先月に引き続き忙しい1カ月になりそうですね。テストをがんばった後に、ゆっくりと読書時間を楽しんでもらえたら嬉しいです。みなさんの来館をお待ちしています。

今月号で紹介した課題図書は、入り次第、配架する予定です。新着図書も続々と入る予定です。しみにお待ちください。